

平成25年度魅力ある学校づくり調査研究事業実績報告書

都道府県・政令指定都市教育委員会名〔大阪府教育委員会〕

1 事業実施期間 平成25年4月23日～平成26年3月25日

2 拠点校及び連携校

区分	学校名	学級数	児童生徒数
拠点校(中学校)	寝屋川市立第五中学校	20(5)	579
連携校 (拠点校中学校区内の小学校)	寝屋川市立神田小学校	23(5)	555
	寝屋川市立和光小学校	26(6)	683

※学級数の()には、特別支援学級数を内数として記入

※学級数及び児童生徒数は平成25年5月1日現在で記入

3 意識調査(アンケート共通項目)

(%)

学校種	学年等	実施時期	児童生徒数(人)	ア 学校が楽しい				イ みんなで何かをすることは楽しい				ウ 授業に主体的に取り組んでいる				エ 授業がよくわかる			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	前年①	582	52.2	34.9	8.8	4.1	57.1	31.2	7.2	4.4	24.5	44.3	23.9	7.3	21.6	44.0	23.8	10.6
		前年②	582	60.5	29.9	6.6	3.0	62.1	27.7	7.3	2.9	23.6	43.0	26.3	7.2	16.7	45.2	25.6	12.5
		本年①	581	51.4	32.7	8.9	7.1	50.8	33.4	10.2	5.6	24.2	48.9	18.5	8.4	27.1	43.2	21.2	8.4
		本年②	581	54.2	31.0	8.9	5.8	63.1	26.5	6.9	3.5	24.5	43.6	24.7	7.1	22.7	44.4	22.0	10.9
	3	中2①	195	53.8	30.6	10.8	4.8	54.8	33.0	6.9	5.3	17.9	39.1	30.4	12.5	19.4	43.0	25.3	12.4
		中2②	195	60.2	28.0	8.6	3.2	55.4	31.2	10.2	3.2	20.1	38.6	32.6	8.7	17.7	44.2	26.5	11.6
		中3①	199	51.9	29.1	9.5	9.5	53.4	30.7	10.6	5.3	21.9	48.7	17.6	11.3	21.3	41.0	27.1	10.6
		中3②	199	56.5	29.6	9.1	4.8	63.4	25.8	8.1	2.7	23.8	43.2	27.0	5.9	23.0	44.3	22.4	10.4
	2	中1①	207	51.7	38.9	7.2	2.2	55.6	30.6	9.4	4.4	24.3	51.4	19.2	5.1	33.1	42.7	18.5	5.6
		中1②	207	60.3	34.6	3.4	1.7	62.6	30.2	3.9	3.4	23.0	47.8	25.3	3.9	21.0	46.6	22.2	10.2
		中2①	181	51.7	32.0	11.0	5.2	54.7	33.1	7.6	5.2	29.7	45.9	16.9	7.6	28.1	39.8	24.6	7.6
		中2②	181	54.8	32.2	7.9	5.1	62.5	27.8	4.5	5.1	26.1	44.3	19.9	9.7	22.3	44.6	21.1	12.0
	1	小6①	195	48.2	38.5	10.3	3.1	60.5	29.2	7.7	2.6	19.1	50.5	22.7	7.7	43.3	41.2	11.3	4.1
		小6②	195	53.9	36.4	6.3	3.4	55.8	36.9	3.4	3.9	24.8	48.1	19.4	7.8	39.8	42.7	14.1	3.4
		中1①	201	50.5	37.0	6.3	6.3	44.7	36.3	12.6	6.3	21.5	51.8	21.9	5.8	32.2	48.7	12.3	7.0
		中1②	201	51.4	31.4	9.7	7.6	63.4	25.8	8.1	2.7	23.8	43.2	27.0	5.9	23.0	44.3	22.4	10.4
小学校	高学年計	前年①	395	48.4	40.3	7.8	3.5	61.0	29.9	6.3	2.8	20.6	47.7	23.6	8.1	42.9	40.1	10.7	6.3
		前年②	395	49.1	36.2	9.2	5.5	57.3	34.0	5.0	3.7	25.6	46.4	21.1	6.9	37.5	43.7	13.2	5.7
		本年①	409	33.2	38.9	18.6	9.3	51.4	34.4	10.8	3.3	29.0	42.7	23.4	4.9	36.5	44.6	15.0	3.9
		本年②	409	32.8	42.4	14.3	10.4	50.5	32.3	11.7	5.5	21.7	48.2	22.3	7.9	35.7	42.2	15.6	6.5
	6	小5①	200	48.5	42.0	5.5	4.0	61.5	30.5	5.0	3.0	22.0	45.0	24.5	8.5	42.5	39.0	10.0	8.5
		小5②	200	44.2	36.0	12.2	7.6	58.9	31.0	6.6	3.6	26.4	44.7	22.8	6.1	35.0	44.7	12.2	8.1
		小6①	205	38.6	35.6	15.5	10.3	54.9	29.7	11.3	4.1	31.8	35.4	25.6	7.2	38.3	42.0	14.5	5.2
		小6②	205	40.8	39.3	12.2	7.7	52.0	31.1	12.2	4.6	20.4	48.5	21.4	9.7	40.8	40.3	13.8	5.1
	5	小5①	204	27.8	42.3	21.6	8.2	47.9	39.2	10.3	2.6	26.3	50.0	21.1	2.6	34.7	47.2	15.5	2.6
		小5②	204	24.5	45.7	16.5	13.3	48.9	33.5	11.2	6.4	23.1	47.8	23.1	5.9	30.3	44.1	17.6	8.0

学校種	学年等	実施時期	児童生徒数(人)	オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした				カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられたりした				キ 叩いたり、けったり、強く押したりした				ク 暴力ではないが、いじわるをしたり、イヤな思いをさせたりした			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	本年①	581	77.3	12.9	4.8	5.0	66.5	21.1	6.3	6.1	74.5	15.7	6.3	3.5	69.6	21.2	5.7	3.5
		本年②	581	72.1	16.4	5.6	6.0	53.3	27.2	12.1	7.4	69.7	19.9	4.3	6.1	57.9	30.2	8.5	3.3
	3	中3①	199	77.3	11.9	3.2	7.6	58.5	24.5	9.3	7.7	71.2	16.3	6.0	6.5	65.2	20.7	7.1	7.0
		中3②	199	76.9	13.2	4.9	4.9	57.5	26.0	11.0	5.5	73.9	14.4	5.6	6.1	62.8	26.1	6.7	4.4
	2	中2①	181	73.1	17.0	5.3	4.6	65.5	24.0	5.3	5.2	69.8	20.7	6.5	3.0	59.6	32.2	5.8	2.4
		中2②	181	71.1	17.9	4.0	6.9	48.0	33.1	11.4	7.4	67.2	25.3	2.3	5.2	49.1	41.1	7.4	2.3
	1	中1①	201	81.3	10.2	5.9	2.6	75.3	15.1	4.3	5.3	82.0	10.6	6.3	1.1	83.0	11.7	4.3	1.0
		中1②	201	68.1	18.1	7.7	6.0	54.1	22.7	13.8	9.4	67.9	20.1	4.9	7.1	61.4	23.9	11.4	3.3
小学校	高学年計	本年①	409	13.6	13.6	12.5	60.3	23.9	17.7	12.4	46.0	6.6	19.1	13.6	60.7	6.7	15.4	20.7	57.3
		本年②	409	23.4	14.6	14.0	48.1	25.5	18.4	18.4	37.7	13.6	22.8	17.5	46.1	11.4	19.4	19.7	49.6
	6	小6①	205	15.0	11.1	9.4	64.4	21.5	13.4	12.4	52.7	7.7	18.7	15.4	58.2	8.3	13.3	18.9	59.4
		小6②	205	19.1	11.2	12.8	56.9	22.6	13.7	20.5	43.2	12.3	24.1	15.0	48.7	10.1	22.2	19.6	48.1
	5	小5①	204	12.2	16.1	15.6	56.1	26.3	22.0	12.4	39.2	5.6	19.6	11.7	63.1	5.1	17.4	22.5	55.1
		小5②	204	27.8	18.2	15.3	38.6	28.5	23.5	16.2	31.8	15.0	21.4	20.2	43.4	12.8	16.3	19.8	51.2

※小学校は、連携校の合計

※実施時期の第1回(①)は5月ごろ、第2回(②)は12月ごろに実施したもの

※「オ」～「ク」の項目は、平成25年度から実施

※本年度第2回(②)以外は、「ブロック協議会資料」に記載した数値を記入

4 課題・目標・取組

課題	児童生徒が自主的、主体的に取り組む活動を充実させる必要がある。 授業改善による学習意欲の向上や自尊感情の醸成が必要である。
目標	委員会活動により体育的行事や地域貢献活動の企画運営に取り組む。 学習形態を工夫し、すべての児童生徒が活躍できる授業をつくる。
取組	①すべての児童生徒が主体的に参加する行事の創造、②5-GOサミットを活用した地域貢献活動の推進、③共通ツールを取り入れた授業づくり。

5 重点推進事項

小・中共通	<p>①すべての児童生徒が主体的に参加できる行事の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校の体育的行事を活用し、学級、学年、学校をつなぐ委員会活動を強化する。 <p>②5-GOサミットを活用した地域貢献活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民と中学校の生徒会執行部、2小学校5～6年の全学級から代表2～3名が年間6回の会議を行い、自分たちの住む町をよりよくすることをテーマに学級で話し合い、サミットの中で具体的取組を協議する。 <p>③共通ツールを取り入れた授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 学び合いの授業の研修、3校合同公開授業、校内研究授業、先進校視察等、授業改善や授業規律の確立に向けた共通理解を深める。3校合同公開授業や校内研究授業では、ペア学習やグループ学習を中心に交流する。
中学校	<p>①すべての児童生徒が主体的に参加できる行事の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> 体育委員と保健委員を分化し専門性を高め、毎月の協議を重ねながら、学年単位の体育的行事や昼休みのグラウンドの活用に関する企画運営に取り組む。 体育大会において各種委員会の組織をいかし、自主的な運営の強化に取り組む。

	<p>む。</p> <p>② 5-GOサミットを活用した地域貢献活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回の代議員会と学級会を通じ、各学級での議論やニーズの把握、地域からの提案に対する具体策の検討等「5-GOサミット」における協議の発展を図る。 <p>③ 共通ツールを取り入れた授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、英語科や体育科で実施したペア学習やグループ学習の取組を全教科に広めるため、ホワイトボードを活用した授業実践及び授業交流に取り組む。 ・ペア学習やグループ学習に取り組むためのガイダンスとして、学級開きの折に全学年対象にハートプログラムを実施する。 ・学びあいの中で他者との関わりにより生徒自身が「気付く」「わかる」「訊ける」「教えることができる」授業づくりに取り組む。
小学校	<p>① すべての児童生徒が主体的に参加できる行事の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーラン、ドッジボール、縄跳び、駅伝等の行事や宿泊行事等に実行委員会を活用し、一人一役で主体的な活動に取り組む。(全小) ・異学年交流(ペアクラス、ペア学年等での休み時間の交流遊びや朝の児童集会における各学年の取組紹介等)を積極的に行い、児童が安心して学校生活を過ごせるとともに、活動の企画や実行などに一人ひとりが主体的に関わることで自己有用感や自己存在感を高める。(全小) <p>② 5-GOサミットを活用した地域貢献活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「5-GOサミット」の協議と学級活動を直接つなげるため、新たに高学年の各学級において5-GOサミット委員を選出し、月1～2回の協議を行う。(全小) <p>③ 共通ツールを取り入れた授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童一人ひとりの活動の場を設定する。ペア学習やグループ学習等学びあいの中で他者との関わりを重視した授業づくりを推進する。(全小)

6 意識調査結果の分析と考察

成 果	成果があがったと考えられる主な理由
<p>・「学校が楽しい」の項目について、どの学年も肯定的な意見が約7～8割を占めた。</p> <p>・中学校の各学年で「学校が楽しい」イ「みんなで何かをするのが楽しい」の項目で「当てはまる」と答えた割合が、各年度、1回目より2回目調査の方が肯定的意見が増加している。</p> <p>・中学3年生でエ「授業がよくわかる」の項目で肯定的意見が増加している。</p>	<p>体育大会や文化的行事、異学年交流において、一人ひとりの活躍の場を生かした取り組み、地域貢献活動による自己有用感の高まりが結果に結びついたと考えられる。</p> <p>小学校では6年生において文化的行事や異学年交流の取り組みにおいて、児童による活動の企画や一人一役による役割分担など全ての児童が主体的に関わることができるように取り組んだ。</p> <p>中学校では体育大会や文化祭などの行事において、各種委員会の組織を生かし、自主的な運営を強化した結果、生徒一人ひとりに対して学校行事や各学年の取り組みから満足感や自己有用感を感じさせることができた。</p> <p>中学3年生では英語科や体育科を中心としてホワイトボード等の共通ツールを活用したペア学習やグループ学習における学び合い活動の取り組みに力を入れてきた。小中学校とも以上のような取組を行ったことが、成果があがった主な理由であると考えられる。</p>

課 題	課題として残ったと考えられる主な理由
<p>・ウ「授業に主体的に取り組んでいる」エ「授業がよくわかる」において否定的な回答に増加傾向が見られる。</p> <p>・5年生の意識調査結果が全体的に低くなっている。</p>	<p>1年目の取り組みの中で授業における満足感を高めるために主体的に取り組める授業づくりを進めてきた結果、中学1年生、中学3年生で「あてはまる」と答える生徒が増加した。しかし、授業が分かりにくいと感じている児童生徒も増加している。これは教師が講義的に教え込む授業から、生徒が自ら課題を見つけ解決していく授業形態へ授業改革を進めたことにより成果が見られる一方で、学年やクラスによって生徒に対するねらいの提示の仕方や振り返りの持ち方などに温度差があることが原因と考えられる。授業におけるアンケートで肯定的な回答が増加している中学3年生での授業実践を手がかりに、ペア学習やグループ学習のあり方、小中一貫した指導のあり方について、3校合同授業研究会や各校での校内研修等で検証する必要がある。</p> <p>小学校では、高学年の段階になると人との関わりや相手の気持ちについて考える場面がより多くなるため、高学年での育ちや必要とされる力を見据えて、低・中学年における取り組みについて検討する必要がある。また、調査項目オ～クにおいても小学校では低い値となっていることから、低学年の段階から適切なコミュニケーションを図ることができるように、人間関係づくりを重視した取り組みをさらに続ける必要がある。</p>

7 2年間の調査研究の成果と課題

①すべての児童生徒が主体的に参加できる行事の創造

- 小学校では、行事においてすべての児童に一人一役の仕事を自己決定させ、実行委員会で行事を進めることで主体的に活動させることができた。また、異学年交流では、低学年とペアで交流し、低学年から頼られることで責任感を強め、自己有用感を向上させることができた。また、教職員が活動を通じて事前事後に肯定的な声かけを意図的に行うことで、児童がより主体的に行事に取り組むことができた。
- 中学校では各種委員会の組織を生かした自主的な運営や取組を充実させることができた。生徒会を中心とする委員会組織を再編成し、機能的な取り組みができるようになった。これらの組織を生かして、体育大会や文化祭等の行事において自主的な運営を行うことができた。
- 児童・生徒主体とする行事における取り組みを進めるための体制が整いつつあるが、これらの取り組みが形式的なものにならないために、教員が行事や取り組みのねらいを共有し、先を見通した計画立案や丁寧な振り返りと評価が必要である。

②5-GOサミットを活用した地域貢献活動の推進

- 5-GO委員会の体制が整い、周知徹底しやすい環境ができた。本事業を始めるまでは一部の児童生徒の活動に留まっていた5-GOサミットであったが、生徒会の組織改革と小学校の5-GOサミットの活動を委員会活動に位置付けることで、取り組みを日常化するとともに、十分な話し合いの場を設定することができた。
- 児童生徒の発信による主体的な地域行事への参加を通して、地域の方の理解が深まり協力を得ることができた。また、子ども議会の時期を年度末から二学期初めに変更することで、子ども議会で協議したことを同じ年度内で実行に移すことができたため、子ども議会での話し合いも活発になった。

- 次年度以降も児童生徒と地域住民との協議を充実させる重要性から、子ども議会にむけての協議の時間や回数を確保し、子どもたちの共通認識を深めていく必要がある。

③共通ツールを取り入れた授業づくり

- 小中九年間で一貫した学びの確立に向け、授業規律の共通理解や授業改善を図るために三校が全学級公開授業を実施し、その後の討議会で各校での取り組みの交流や授業規律、児童生徒の様子等について交流を深めることができた。各校の年間計画に位置付けることで研修会や分科会の回数を確保した。
- 公開授業では、ホワイトボードの活用等を切り口としたペア学習・グループ学習により言語活動を充実させ、児童生徒が主体的に参加できる授業の在り方について三校の教員で共通認識を深めることができた。また、教科を限定せず、授業の様々な場面で言語活動を取り入れる意識が見られるようになった。

- 教職員研修会や分科会において授業づくりの目標や具体的方策について共通認識をもつことはできたが、その実践においては学校や学年、クラスによって共通ツールの活用が児童生徒へ十分に浸透しきれていないことから、授業実践の課題を整理し改善に向けた工夫が必要である。

8 取組内容

(1) 月別実施内容

※「実施状況」の欄は、次の記号で取組内容ごとに示す。

- ・・・予定どおり実施
- △・・・時期を変更して実施又は実施予定
- ◇・・・計画書にはないが新たに実施
- ×・・・実施しなかった

<平成24年度>

月	小学校の主な実施内容	実施状況	中学校の主な実施内容	実施状況
4月	学級づくり強化週間【和光・神田合同】 (4/9～4/13)	○	市教委訪問 第1回魅力ある学校づくり調査研究委員会 (五稜学園ネットワーク会議)【小中合同】 第1回小中連絡協議会【小中合同】 第1回小中合同研修会-SSW研修-【小中合同】 第1回連絡協議会(各担当者参加) 研究推進部会【各校】 校内研修会【各校】	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
5月	研究推進部会【和光・神田】 児童会熟議【小学校各校】 ペア仲良しデー【和光】 地域交流(読み聞かせ)【和光】	○ ○ ○ ○	第2回小中協議会【小中合同】 第2回小中合同研修会【小中合同】 校内研修会【各校】 生徒会会議【五中】 社会性測定用尺度調査【各校】	○ ○ ○ ○ ○
6月	地域交流(読み聞かせ)【神田】 文化集会【神田】 小学生熟議【神田・和光】	○ ○ ○	国立教育政策研究所訪問&協議会 中1ハートプログラム【五中】 第3回小中連絡協議会【小中合同】 第2回魅力ある学校づくり調査研究委員会【小中合同】	○ ○ ○ ○
7月	地域交流(キッズサマーSP)【和光】 音読交流会【和光】 「和光踊り子連」【和光】	○ ○ ○	第1回5-GOサミット【小中合同】 第4回小中連絡協議会【小中合同】 給食参観 合同部活動【小中合同】 校内授業研究会【各校】	○ ○ ○ ○ ○
8月	校内研修会【神田】 校内研修会【和光】	○ ○	校内研修会 小中合同研修会	○ ○

9月	市教委訪問 研究推進部会【和光・神田】 児童会熟議【和光・神田】 水泳記録会【2校合同】 運動会【和光・神田】	○ ○ ○ ○ ○	第5回小中連絡協議会【小中合同】 第1回5-GOサミット【小中合同】 市教委訪問 リーフレットの作成 生徒会会議	○ ○ ○ △ ○
10月	市教委訪問 研究推進部会【和光・神田】 合同児童会熟議【2校合同】 児童会熟議【和光・神田】 地域交流【和光・神田】	○ ○ ○ ○ ○	体育大会 市教委訪問 第6回小中連絡協議会【小・中合同】 生徒会会議 第2回5-GOサミット【小・中合同】 ブロック別協議会（三重） 地域交流（クリーンロード）	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
11月	市教委訪問 研究推進部会【和光・神田】 児童会熟議【和光・神田】 異年齢交流 （兄弟学級遊び・交歓給食）【両校】 文化集会【和光・神田】	○ ○ ○ ○ ○	市教委訪問 参観週間【3校相互参観】 文化祭 生徒会会議 まちかど清掃【小・中合同】 （府教委訪問） ホップ・ステップ・イングリッシュ【小・中合同】	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
12月	市教委訪問 研究推進部会【和光・神田】 校内研修会【和光・神田】 異年齢交流（ニコニコフェスティバル・交歓給食）【和光】 小中合同作品展【小・中合同】 文化集会【和光・神田】	○ ○ ○ ○ ○ ○	市教委訪問 第7回小中連絡協議会【小・中合同】 第4回魅力ある学校づくり調査研究委員会（五稜学園ネットワーク会議）【小・中合同】 第3回5-GOサミット【小・中合同】 第12回すこやかフェスタ アンケート調査【小・中合同】	○ ○ ○ ○ ○ ○
1月	市教委訪問 研究推進部会【和光・神田】 地域交流（昔あそび）【和光・神田】 地域交流（おはなし会）【和光・神田】 校内研修会【和光・神田】 文化集会【和光・神田】 学力検定【和光】	○ ○ ○ ○ ○ ○	市教委訪問 第8回小中連絡協議会【小・中合同】 第4回5-GOサミット【小・中合同】 合同部活動【小・中合同】 スキー学習（1年） 職場体験学習（2年）	○ ○ ○ ○ ○ ○
2月	市教委訪問 研究推進部会【和光・神田】 児童会熟議【2小】【和光・神田】 ハートプログラム【2校合同】	○ ○ ○ ○	市教委訪問 第9回小中連絡協議会【小・中合同】 第2回連絡協議会（東京） 第5回5-GOサミット【小・中合同】 五稜学園子ども議会	○ ○ ○ ○ ○
3月	市教委訪問 研究推進部会【和光・神田】 6年生を送る会【和光・神田】	○ ○ ○	第10回小中連絡協議会【小・中合同】 第5回魅力ある学校づくり調査研究委員会（五稜学園ネットワーク会議）【小・中合同】 離別式	○ ○ ○

<平成25年度>

月	小学校で行う主な内容	実施状況	中学校で行う主な内容	実施状況
4月	校内研修会（全小） 5-GOサミット委員会 市教委訪問	○ ○ ○	第1回小中連絡協議会（小・中） 第1回調査研究委員会（小・中） 三校合同教員研修（小・中） 三校合同部会（小・中） ハートプログラム（全学年） 市教委訪問	○ ○ ○ ○ ○ ○
5月	第1回意識調査（全小） 小学生熟議（全小） 5-GOサミット委員会 校内授業研究会	○ ○ ○ ○	第2回小中連絡協議会（小・中） 三校合同教員研修（小・中） 生徒会会議 第1回意識調査	○ ○ ○ ○

	市教委訪問	○	国による学校訪問(小・中) 市教委訪問	○ ○
6月	文化集会(神田小) 運動会(神田小) 5-GOサミット委員会 校内授業研究会 市教委訪問	○ ○ ○ ○ ○	第3回小中連絡協議会(小・中) 第2回調査研究委員会(小・中) 5-GOサミット①(小・中) 先進校視察 市教委訪問	○ ○ ○ ○ △
7月	5-GOサミット委員会 市教委訪問	○ ○	5-GOサミット②(小・中) 校内授業研究会 市教委訪問	○ ○ ○
8月	水泳大会 市教委訪問	○ ◇	三校合同教員研修(小・中) 地域貢献活動(小・中) 市教委訪問	○ ○ ○
9月	水泳記録会(2校合同) 運動会(和光小) ・5、6年生による自主的な係活動 5-GOサミット委員会 ソーランの取組(和光小) ・運動会や民舞大会への出場に向けての主体的な取組 市教委訪問	○ ○ ○ ○ ○ ○	第4回小中連絡協議会(小・中) ・リーフレットの作成による寝屋川市全小中学校への周知 三校合同教員研修(小・中) ・ペア学習・グループ学習等による学び合いの学習のあり方について 5-GOサミット③(小・中) 子ども議会(小・中・地域) ・子ども発の地域協働の取組発表 生徒会会議 ・5-GOサミット、子ども議会の発表のまとめ、各校への報告について協議 市教委訪問	○ ○ ○ ○ ○ ○
10月	小学生熟議(全小) ・地域交流行事の検討 地域交流(全小) ・地域協働による清掃活動、挨拶運動の実施 5-GOサミット委員会 ・清掃活動の振り返り 校内授業研究会 ・言語活動を活かした授業づくり 市教委訪問	○ ○ ○ ○ ○ ○	第5回小中連絡協議会(小・中) ・ブロック別協議会への準備 体育大会 ・生徒主体による体育大会の実施 生徒会会議 ・5-GOサミットの取組について ・文化祭の取組検討 5-GOサミット④(小・中) ・すこやかフェスタの取組検討 市教委訪問	○ ○ ○ ○ ○ ○
11月	小学生熟議(全小) ・5-GOサミットに向けて 兄弟学級遊び・交歓給食(神田小) ・異学年交流 文化集会(全小) ・異学年交流 5-GOサミット委員会 ・すこやかフェスタ 校内授業研究会 ・言語活動を活かした授業づくり 市教委訪問	○ ○ ○ ○ ○ ○	文化祭 ・生徒の自発的な活動の場 生徒会会議 ・新体制づくり(引き継ぎ) ブロック別協議会 市教委訪問	○ ○ ○ ○ ○
12月	異学年交流 ・交歓給食(和光小) 異学年交流 ・文化集会(神田小) 第2回意識調査 5-GOサミット委員会 ・すこやかフェスタの振り返り 市教委訪問	○ ○ ○ ○ ○ ○	第6回小中連絡協議会(小・中) ・意識調査の集計、考察 第3回調査研究委員会(小・中) ・ブロック別協議会の振り返り 5-GOサミット⑤(小・中) ・5-GOサミットの取組を地域へ紹介する 五中校区すこやかフェスタ ・児童、生徒、地域による協働 第2回意識調査 市教委訪問	○ ○ ○ ○ ○ ○
1月	ニコニコフェスティバル(和光小) 校内研修会(全小) ・言語活動を活かした授業づくり 文化集会(神田小) ・異学年交流 5-GOサミット委員会	○ ○ ○ ○ ○	第7回小中連絡協議会(小・中) ・第2回意識調査集計、考察 第4回調査研究委員会(小・中) ・連絡協議会に向けて 三校合同教員研修(小・中) ・次年度の小中一貫した学び合いの授業についての検討	○ ○ ○ ○

	・5-GOサミット紹介の作成 市教委訪問	○	5-GOサミット⑥（小・中） ・5-GOサミット紹介の作成 市教委訪問	○
2月	小学生熟議（全小） ・5-GOサミットに向けて ハートプログラム【2校合同】 ・中1ギャップ解消に向けた取組 5-GOサミット委員会 ・取組の振り返り 校内授業研究会 ・言語活動を活かした授業づくり 市教委訪問	○ ○ ○ ○ ○ ○	第8回小中連絡協議会（小・中） ・連絡協議会に向けて 5-GOサミット⑦（小・中） ・取組の振り返り 卒業に向けての取組 市教委訪問	○ ○ ○ ○ ○
3月	5-GOサミット委員会 ・今年度のまとめ 市教委訪問	○ ○	第9回小中連絡協議会（小・中） ・実績報告書の作成 第5回調査研究委員会（小・中） ・年間のまとめ 5-GOサミット⑧（小・中） ・今年度のまとめ 市教委訪問	○ ○ ○ ○

（2）重点推進事項の実施状況

〔小・中共通〕

② 5-GOサミットを活用した地域貢献活動の推進

両小学校でサミット実行委員を委員会活動に位置づけ、学級活動と連動させたことにより、学級の取組へと広げることができた。両小学校5・6年の全学級からの代表と中学校の生徒会執行部とで自分たちの住む町をよりよいものにするをテーマに具体的な取り組みを協議し、また子ども議会での意見表明とともに、地域交流行事で地域の一員として活動することができた。すこやかフェスタでは5-GOサミット委員が企画し、当日の運営も児童生徒が中心になって活動した。今年度の活動の振り返りと次年度の活動についての話し合いの中で活動に対する達成感を感じていることがうかがえる意見が出された。



③ 共通ツールを取り入れた授業づくり

授業改善や授業規律の確立に向けた共通理解を深めるため、学び合いの授業の研修、三校合同公開授業を行った。三校合同公開授業ではホワイトボードの活用やグループワークによる協働学習に取り組んだ。前に出たの発表(全員)における他の子の役割(反応)などの場をつくることで、グループでの話し合いや評価し合う機会が増え、それがまた達成感を生み、自己有用感の向上に役立った。



〔中学校〕

① すべての児童生徒が主体的に参加できる行事の創造

生徒会を中心とする委員会組織を再編成することで各種委員会の組織を生かした自主的な運営や取り組みを充実させることができた。体育大会や文化祭では各委員が責任を持って自分の役割を果たし、他の生徒もそれを支えた。また、一人ひとりが自分の役割をしっかりと認識し、お互いに声を掛け合いながら全員で取り組んだ。これらの取り組みが「みんなで何かをするのが楽しい」と感じる生徒が増加した一因であると考えている。

〔小学校〕

① すべての児童生徒が主体的に参加できる行事の創造

各種行事や異学年交流において実行委員会やペア活動を活用し、一人一役で主体的な活動に取り組むことで自己有用感を高める取り組みを進めた。特に運動会では両小学校とも自主的、主体的な取り組みにつなげることができた。また、異学年交流ではペア学級での遊びや清掃活動を通して低学年に対する思いやりの心

を育てることができた。6年生の卒業に向けての取り組みでは、5年生が中心となって6年生を送る会を企画・運営したり、卒業式に向けて練習している合唱や合奏を全校児童の前で披露する機会を設けることで、意欲の向上を図った。(全小)

9 事業担当者の活動

(1) 活動内容

実施要項の該当箇所		活動内容
4 (1)	事業全般	研修会実施計画の作成 取組の調整推進
4 (2)	小・中連携	小・中連絡協議会のコーディネート 魅力ある学校づくり調査研究委員会(五稜学園ネットワーク会議)のコーディネート ネットワーク会議に関する研修計画作成 合同行事や取組の設定
	小・小連携	小小連絡会議研究推進部会の設定 研修会の設定と合同行事や取組の設定
4 (3)	データ収集・分析等	意識調査項目と社会性測定用尺度のアンケート内容検討と分析
4 (4)	取組の評価	課題把握とその改善に向けての目標の再設定 課題解決策の原案作成
4 (5)	資料作成、広報等	リーフレット作成 研修会での発表 ホームページでの公開

(2) 事業推進上の成果と課題

<成果>

- ・5-GO委員会において、子どもたちからの発案による地域との取り組みを推進することができたことにより、地域の学校の取組に対する理解が深まり協力いただける体制が充実した。
- ・小中の研究体制の確立。授業規律や共通ツールを生かした学び合いの授業づくりの方向性が定まった。

<課題>

- ・目標を明確にした授業研究を行うために、三校合同研修と各校の校内研修の持ち方についてコーディネートを行ってきたが、意識調査結果からも分かるように、授業実践につながるにはまだまだ課題が多い。今後も、教科の特性を生かしつつ、学び合いの授業づくりを推進するため、担当者として研修と実践を結びつける工夫に取組む必要がある。

10 教育委員会の取組

(1) 市町村教育委員会

[重点推進事項]

- ・拠点校及び連携校の本事業における主体性の向上
- ・「子どもにつけたい力」や「子どもの変容」等を含めた9年間の行事等の実践計画を整理し、今後の取組の在り方や有機的な小小、小中連携及び異学年交流の在り方等の検証
- ・本年度の事業の取組と成果の全市的な啓発活動
- ・次年度以降の継続可能な取組に向けての課題整理

[課題と成果]

- 大阪府教育委員会主催の「絆づくりワーキング・グループ会議」において、第五中学校区における取組の効果検証や他市の優れた取組についての情報共有を図るなど、本事業の推進に活用することができた。また、第五中学校区の学校体制や取組を本市生徒指導主事会や十年目教員研修で紹介するとともに、寝屋川市小中学校英語教育特別推進地域研究発表会(約800人参加)において第五中学校区の授業公開を行うことで、第五中学校区における本事業を含めた取組の一環を実際の児童・生徒の様子を通して市内外に発表することができた。
- 次年度以降の本事業における取組の継続について、大阪府教育委員会と連携を図り、寝屋川市12中学校区における各校の特色ある教育活動を推進するため

に、第五中学校区をその中心に位置づけ、本市におけるモデルケースとして調査研究を継続し、市内の児童生徒支援加配教員を活用した調査研究を更に進めていく必要がある。また、本市校長会と指導主事の生徒指導ワーキング・グループ会議等を活用し、本事業の調査結果や分析について周知を図っていく。

(2) 都道府県教育委員会

〔重点推進事項〕

- ・自尊感情、自己有用感を高めるための小小や小中連携、異年齢交流を中心とした集団指導の在り方について、該当市町村教委と連携のもと社会性測定用尺度を活用し検討を進める
- ・児童生徒支援加配教員を活用し「魅力ある学校づくり調査研究」を実施し、該当市町村教委と連携した府域での取組の推進
- ・本調査研究の取組及び国主催の連絡協議会で得られた情報や成果と課題を府内市町村教育委員会と共有化の推進

〔課題と成果〕

- 大阪府教育委員会主催の「絆づくりワーキング・グループ会議」において、寝屋川市教育委員会とともに、社会性測定用尺度を活用し、第五中学校区における集団指導の取組の効果検証や他市の優れた取組についての情報共有を図るなど、本事業の推進につなげることができた。
- 府内の児童生徒加配教員140人対象の研修会及び代表の児童生徒支援加配教員30人の連絡会において、魅力ある学校づくり調査研究の成果や成長を促す指導の取組（別添資料）について情報共有することができた。
- 平成25年度11月7日に大阪府で行われた「魅力ある学校づくり調査研究事業」ブロック協議会において、国、寝屋川市及び他地域の研究成果や情報を、政令市を含む府内43市町村教育委員会指導主事及び約150人の生徒指導担当者に発信し、魅力ある学校づくりの推進につなげることができた。
- 中学校を下支えする小学校における社会性測定用尺度データを活用した集団の分析や取組の検証が不十分であり、今後、小学校に焦点を当てた効果的な取組や小小連携、小中連携のあり方等について研究を進める必要がある。

11 「魅力ある学校づくり調査研究委員会」

(1) 構成

所属	人数	備考（主な職名等）
大阪府教育委員会	3	首席指導主事、主任指導主事、指導主事
寝屋川市教育委員会	2	教育指導課長、指導主事
寝屋川市立第五中学校	5	校長、教頭、教務主任、生徒指導主事、事業担当者
寝屋川市立神田小学校	4	校長、教頭、教務主任、事業担当者
寝屋川市立和光小学校	4	校長、教頭、教務主任、事業担当者
地域住民	5	地域自治会長、学校評議員等

(2) 事業推進上の成果と課題

<成果>

- ・府・市の指導主事の学校訪問による担当者への指導・助言や府・市教育委員会と学校による調査研究委員会において実施状況を確認し、成果と課題分析から取組の充実につなげることができた。
- ・地域自治会長が構成員に入っていたことで、地域貢献活動への理解をと協力を得ることができた。

<課題>

- ・学年によって取組の認識に差が一部見られたことから、学年主任を調査研究委員会に加えることで、より円滑な本事業の取り組みの実行が可能になると考えられる。

12 作成資料等

<平成24年度>

- リーフレット、学校視察来校者用プレゼンテーション資料

<平成25年度>

- リーフレット、学校視察来校者用プレゼンテーション資料

13 関連URL

第五中学校ホームページ <http://www.city.neyagawa.osaka.jp/school/j/dai5/>

【問い合わせ先】

所属	大阪府教育委員会小中学校課		電話	06-6944-3823	
職名	指導主事	氏名	森田 好一	よみがな	もりた よしかず